

井泉



令和4年8月31日
富山県立八尾高等学校
井泉会

TEL (076) 454-2205
FAX (076) 454-5999

URL <http://www.yatsuo-h.tym.ed.jp>
E-mail yatsuoko@ed.pref.toyama.jp

SEISEN No.143



第71回体育大会

保護者の皆様とともに



井泉会会長
奥井 良樹

本校の歩み



校長
日下 泰夫

令和四年度井泉会会長を仰せつかりました奥井と申します。この二年間はコロナの影響で行事・部活動の制限や中止があり、今まで当たり前だった事が当たり前に行えない時期でもありました。子供達だけでなく、我々保護者も我慢してきた時期でもありました。P.T.A活動は負担が大きいと思われ保護者の方もいらつしやいます。が、子供の育成環境の中で家族の時間の次に多いのは「学校」の時間だと思えます。高校生活において先生方が子供の育成に尽力してくださり、お任せしていることが多いです。先生方の働き方改革に合わせ、子供達の育成環境を整えることが保護者の役割であり、先生方と一緒に活動することにより良い子供達の育成環境が整うと思えます。小・中学校と違い、我々保護者がP.T.A活動として関わる時間はかなり少なくなりますが、子供達の頑張っている姿を応援する機会を構築していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。今年には三年に一回開催される「高啼祭」があります。二日間に渡り、子供達が様々な発表や展示を行います。子供達の成長を近くで見る機会でもありますので、コロナに負けず頑張っている子供達の姿を見に来てください。我々役員は皆様が来校される駐車場でお持ちしています。役員にもお声を掛けていただければ幸いです。

最後に、日下校長先生はじめ教職員の皆様、地域の皆様、子供達の育成に尽力を賜り、井泉会を代表し心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

井泉会の皆様には、日頃本校の教育活動にご理解ご支援を賜りますとともに、生徒の健全育成、会員相互の親睦のために活発な活動を推進していただき厚くお礼申し上げます。

さて、二〇二〇年初頭より始まった新型コロナウイルス感染症拡大により、これまでの高校教育のあり方も変化を余儀なくされています。さらに、今年度から新しい学習指導要領が始まり、「主体的・対話的で深い学び」の実現、そのための授業改善、さらにカリキュラム・マネジメントの確立等々、様々な改革が高大接続改革の流れの中で年次進行で実施されます。同時に豊かな社会、価値観の多様化が進む時代における子育ての難しさが如実に現れている感があります。このような現状を鑑みて、本校においても、子供たちの学びを止めないために、一人一台タブレットやデジタル教材の導入、オンライン授業などいろいろと対策を講じてきました。しかし、様々な改革や変化に対応するとともに大切なことは、学校において挨拶、授業、清掃、部活動など日々の地道な積み重ねを丁寧に誠実に進めていくこと、そして、それらの営みを情性に流れることなく、眼前の生徒の生の姿や親の願いを的確に捉えながら常に見直し、改善・充実の方策を素早く確立し、実践していくことであると考えています。

本校では、全教職員が一丸となって、日常的な教育活動を一層充実させるとともに、生徒の将来を見据えた指導に努めています。井泉会の皆様には、関心を持って本校の教育活動を見守っていただき、絶大なご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

PTA活動報告

PTA井泉会・教育振興会総会

五月十四日(土)、本校第一体育館で井泉会・教育振興会総会が行われ、令和三年度の事業報告、会計報告及び四年度役員、事業計画、会計予算案が審議を経て承認された。総会後には学年保護者会が行われた。



朝のさわやか運動

六月十五日(水)・十六日(木)には「あいさつでの距離を、ゼロ距離に」のスローガンのもと、夏のさわやか運動が行われた。今年度は福島保育所、八尾小

学校、八尾中学校へ三年生を中心に出向き、校門前であいさつ運動を行った。井泉会からは九名の保護者が参加し、生徒会執行部や校風委員の生徒たちと共に本校生徒玄関前で登校した生徒と挨拶を交わした。



富山地区指導者研修会

六月二十七日(月)に富山地区指導者研修会が富山中部高校で開催された。第一部では奥井井泉会会長が「地域と共に『高啼く理想道を拓かん』子ども達のサポーターとして」をテーマに発表を行い、本校の特色やPTA活動を紹介した。

第二部では牧田和樹氏の講演を聴講した。



PTA今後の予定

- 9月14日(水) 第2回役員会
- 9月30日(金)・10月1日(土) 高啼祭運営補助
- 10月17日(月) PTA研修会「大人の遠足」
- 10月20日(木) 県高P連大会・指導者研修会
- 令和5年 2月15日(水) 第3回役員会
- 2月28日(火) PTA通信144号発刊

保護者のひろば

必勝と必笑

三年委員長 槻 大輔

「必勝」この言葉を部活など大会の横断幕であったり、受験勉強のハチマキであったり、勝負の時に多く目にします。

必勝とは「必ず勝つ」という意味があるようですが、どちらかというとなんか欲しいと願うときに使われているように思います。勝負である以上、勝ち負けがあるわけですが、勝利を願った結果が悪い方になったとしても、それを悲観するのではなく、頑張ったことを称えるというのが

必勝の意味なのではないかと思えます。

コロナ禍で、いろんな制限を課せられた年代の子供たちですが、必勝を願って頑張ってきた証の、「必笑」があることを願っています。

清々しいあいさつ

二年委員長 梅田 篤史

学校へは年に何度か訪れますが、入学者説明会以来毎回感動させられる事があります。それは、生徒さんと廊下ですれ違う時の「こんにちは」のあいさつです。出会うのは毎回数名の生徒さんですが、その数名の皆さんがみな「こんにちは」ととても元気なあいさつをしてくれるので、私も元気に「こんにちは」と自然に声が出てきます。

偶然出会う生徒さん達とのあいさつで、「八尾高校はあいさつに力を入れているな」とか、「生徒さんは良い環境で素直に成長しているんだな」と、とても良い印象を



野球部

持ちます。

自分の子に目を向けると、一年生の時は「行ってきませぬ」や「たぐいま」等、声にもなっていないで、声が、二年生の今ではニコニコとあいさつしている姿を家でも見る事ができ、八尾高校生として成長しているなど思っています。



学校生活

成長できる三年間に
一学年委員長 納村恵里花

一学期を娘と振り返ったときにお互いを感じたことは「色々あったね〜」でした。新しい環境となり、不慣れな環境の中で失敗や悔しい経験がたくさんありました。また気持ちが落ちて「学校に行きたくない」と私に嘆

いたときはとても心配しました。「辛いことや苦しいこと、逃げ出したいくなることもあると思うけれど、きっとその経験はかけがえのない力となってくれる。その力が次の困難に役に立つ。そんな成長が大事なのだよ。」と話し合ったりもしました。入学して三ヶ月、部活と勉強で忙しい毎日のようですが、新しい環境にも慣れ、少しずつですが笑顔も多くなり、少し成長したように感じます。

成人の年齢が十八歳に引き下げられ、大人になるまでの準備期間が短くなりました。この三年間でどれだけ成長できるかはわかりませんが、充実した三年間にしてほしいと思います。



入学式

吹奏楽部
定期演奏会

娘の成長を感じた
定期演奏会

34HP 大窪 秀一

五月四日、婦中ふれあい館にて定期演奏会が開かれました。三部構成となり更に華やかさ、力強さを増した演奏に酔いしれ、至福の一時でした。

ミスチル・ブルーハーツ・ディー・パープル：私達保護者世代にはたまらないツボを押さえた選曲。色褪せない魅力を放つ名曲に懐かしさが止まりません。エキゾティックな「くじやく」もインパクト抜群で、心を奪われました。

初心者として入部してから二年余り、ドキドキワクワクしつつ放しの毎日でした。吹奏楽部のおかげで、娘はこれ以上無いほど充実した高校生活を送らせていただいています。部活動に打ち込む毎日、挫折・達成感・仲間との一体感…どれも他では経験できないものです。ここまで指導していただき

た顧問の先生方、先輩の皆さん、その他全ての方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



吹奏楽部定期演奏会

郷土芸能部
演技発表会

演技発表会を鑑賞して
32HP 柞山 優

場を設けて頂きありがとうございます。高校入学するまでおわら風の盆を見た事がない息子が伝統ある郷土芸能部に入部した事は驚きでしたが、引退公演では部活動の仲間と勇壮に踊っている姿、哀調な音色で胡弓を弾いている姿に感動しました。

最後に、八尾高校の郷土芸能部の益々のご活躍を期待します。

息子が郷土芸能部へ入部し、三年が経ちました。この三年間、コロナウイルスの影響により練習や発表会が今までと異なりましたが、おわら保存会の方々と先生方には出来る事を工夫され、一般の多くの方々に披露の



郷土芸能部演技発表会

令和4年度 1学期 部活動成績

<ボート部>

◎第40回岐阜レガッタ

一般女子シングルスカル 優勝 田知本遥奈

◎令和4年度 富山県高等学校総合体育大会 ボート競技大会(第30回富山県高等学校ボート選手権競漕大会)

男子シングルスカル 1位(インターハイ出場権獲得) 須田 和樹
 2位(北信越大会出場) 森沢 蓮
 男子ダブルスカル 2位(北信越大会出場) 増山 載笑 高橋 和希
 男子舵手付きクォドルプル 1位(インターハイ出場権獲得) 野上 蒔斗 林 蒼太 木倉 圭哉
 下田 迅都 村上 陽亮
 女子シングルスカル 1位(インターハイ出場権獲得) 田知本遥奈
 女子ダブルスカル 1位(インターハイ出場権獲得) 秋元 若那 布村 紗雪
 2位(北信越大会出場) 岡村 碧希 関 水姫

◎令和4年度 北信越高等学校体育大会 ボート競技

女子シングルスカル 3位 田知本遥奈
 女子ダブルスカル 3位 秋元 若那 布村 紗雪

◎第43回 北信越国民体育大会 ボート競技

少年女子シングルスカル 2位(国体出場権獲得) 田知本遥奈
 少年男子舵手付きクォドルプル 3位 林 蒼太 木倉 圭哉
 少年女子舵手付きクォドルプル 3位 秋元 若那 布村 紗雪 関 水姫

<陸上競技部>

◎第75回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会

男子5000m競歩 8位 浅井 敦

◎第75回富山県民体育大会陸上競技

少年男子共通B 円盤投 8位 工藤 康成



ボート部

<ソフトボール部>

◎第18回富山市民体育大会 ソフトボール競技

2位 八尾・富山第一・呉羽高校合同チーム

<吹奏楽部>

◎第50回富山県吹奏楽コンクール

高等学校B部門 金賞(北陸大会出場)

◎第63回北陸吹奏楽コンクール

高等学校B部門 銀賞

<郷土芸能部>

◎第11回高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田

神楽伝承奨励賞



陸上競技部

<家庭科部>

◎令和4年度富山県高等学校家庭クラブ研究発表会

勝見 葛依



女子ソフトボール部

令和4年度「さわやか運動」

スローガン部門 最優秀賞 松下 実卯
 優秀賞 大平 絢音

広報委員会

宮本優香理 (委員長 大沢野)
 田中 和子 (八尾)
 大上 正志 (速星)
 熊膳 誠 (井泉会副会長)
 奥井 良樹 (井泉会会長)
 辻 寛 (副校長)
 飯田 康信 (総務部長)
 大塚 賢志 (総務部)
 北村 真琴 (総務部)

今後の予定

9月30日(金)・10月1日(土) 高啼祭
 10月15日(土) 進路懇談会(1・2学年)
 10月17日(月) PTA研修会「大人の遠足」
 11月4日(金) 創立百周年記念式典
 12月21日(水)・22日(木) 個別保護者懇談会
 12月23日(金) 終業式
 令和5年
 1月10日(火) 始業式
 3月1日(水) 卒業式
 3月24日(金) 終業式

